

2015年10月31日

久留米大学医学部医学教育研究センター

<http://csme.asuscomm.com/wp/>

神代龍吉、安達洋祐、柏木孝仁、北川周子

1. 「医師国家試験の結果に影響を与える因子の解析」

研究計画が本学の倫理委員会に8月に承認されたので研究に着手した。研究期間は平成32年3月31日まで。当センターHP参照。

2. 「勉強会室テュータ配置に関する調査」

これまで2回のアンケートを実施した。3回目を待って集計予定。期間は平成28年3月31日まで。当センターHP参照。

3. WordPress のサービス開始。

ブログ作成に利用できるソフトで、Moodle よりも扱いが容易。当センターHP参照。

4. 教育用サーバの移転と新規装備充実

学内にある IT (問題プールシステム、教務システム、e-Learning など) を一括運用するためのサーバ群を新たに設置することになった。現在運用している問題プールシステム

(K-CAMELLIA) や教務システム (教務課使用)、仮運用中の e-Learning システムを新規サーバに順次移行する。

5. シラバスのアップロード状況

1年生の授業2つ(文献検索とアカデミックリテラシー)のアクティブ・シラバスと OSCE 学習用動画が利用可能。閲覧希望があれば当センターへ。

6. SP セミナー (10月24日)

Post Clinical Clerkship OSCE (Post CC OSCE) に使用するシナリオを SP さんとシナリオ作成者で読み合わせて改良した。なお養成会の名称を「久留米大学医学部 SP 会」と決定し、さらに「久留米大学医学部 SP 憲章」、SP さん募集用パンフレットを作成することとした。

7. 西日本公私立医科大学医学部教務協議会 (10月2日)

16の大学が金沢市(金沢医大当番)に集まり、13議題と2つの照合事項について議論。本学からは安達教授、教務委員長、教務課長が出席した。

8. 日本語診療能力調査 (10月3日、4日)

厚労省の標記調査が実施され、神代センター長が参加した。受験者は外国の医学部を卒業した医師で、日本の医師国家試験受験前の日本語診療能力のチェックが目的。

9. 九州大学医学系統合教育研究センター長の三木洋一郎教授が実施している TBL 教育を当センターの北川が10月19日(月)に視察してきた。本学では11月25日(水)に教育FDとしてTBLワークショップを開催予定。

以上